

# 松尾芭蕉・平山郁夫と旅する 奥の細道・中尊寺

令和2年9月19日(土)~12月4日(金) <会期中無休>



夏草や

つはもの  
兵どもが

夢の跡



平山  
郁夫  
高館義経堂  
から望む

《北上川と東福山を高館義経堂から望む》2000年

- 開館時間 午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 入館料 一般:920円 大高:410円 中小:210円 (10名以上の団体は一般:830円、大高:370円、中小:190円)
- 主催 公益財団法人平山郁夫美術館、中国新聞備後本社
- 後援 広島県、広島県教育委員会、公益財団法人ひろしま文化振興財団、尾道市、尾道市教育委員会

平山郁夫美術館

〒722-2413 広島県尾道市瀬戸田町沢200-2  
TEL.0845-27-3800 <http://www.hirayama-museum.or.jp/>

HIRAYAMA IKUO MUSEUM OF ART



# 松尾芭蕉・平山郁夫と旅する 奥の細道・ 中尊寺



## 松島



松島を訪れた芭蕉は、「松島の風情は、深みのある美しさと、美人がさらに美しく化粧をしたようだ」と讚えましたが、感動のあまり俳句を作ることができませんでした。  
《明けゆく松島》  
1991年

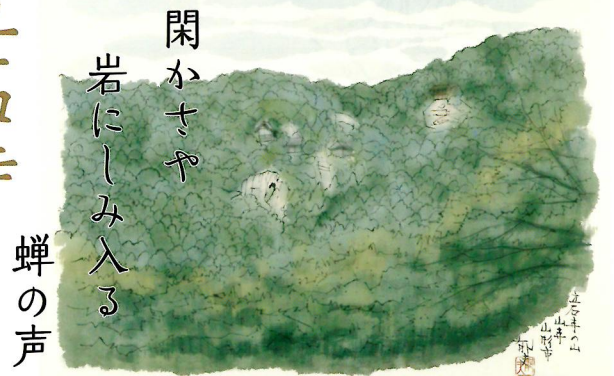
## 平泉



芭蕉が平泉の高館に登ると、北上川が眼下に見えます。源義経を死守しようとした武士たちが、この高館に立てこもりましたが、今や戦場のあとは草むらと化しています。

《北上川と東稲山を高館義経堂から望む》  
2000年

## 立石寺



山形の立石寺という山寺に向かった芭蕉は、麓の坊に宿を借りて山上の本堂に向かいます。岩上に建てられた12の御堂はどれも扉を閉め切って物音一つしません。ひっそりと静まり返った素晴らしい風景の中で、ひたすら心が澄みゆくのを感じました。

《立石寺の山 山寺》  
1997年

## 羽黒山



羽黒山神社を参拝した芭蕉は、この霊山霊地のご利益の素晴らしさに感銘を受けました。神社の住職、会覚阿闍梨の要請で俳句を短冊にしたためました。

《羽黒山神社 五重塔》  
1997年

## 越後路



酒田から海岸つたいに、越後から越中の市振の関まで来た芭蕉は、夜の日本海の向こうにある佐渡ヶ島を想います。

《天の川》  
1997年



### 交通のご案内

〔船〕三原港→瀬戸田港 尾道港→瀬戸田港 瀬戸田港より徒歩約10分

〔車〕山陽自動車道・福山西IC→生口島北IC～(約40分)

※本州方面からは生口島北ICでしか降りられません。

しまなみ海道・今治IC→生口島南IC～(約35分)

※四国方面からは生口島南ICでしか降りられません。

## 平山郁夫美術館

〒722-2413 広島県尾道市瀬戸田町沢200-2

TEL.0845-27-3800 <http://www.hirayama-museum.or.jp/>